**アンケート・ピックアップ**

**1月21日　株式会社ウィルフ　代表取締役社長 黒石　健太郎　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

収入に関してのリスクは会社員でも起業家でもあまり変わらず、むしろ起業家のほうが数十億単位の収入を得る可能性を残しているというのは驚きだった。大学時代に起業することで、自分が起業家に向いているか適性判断ができるし、社会人になって起業するときにも動きやすい。学園祭が起業への第一歩になったという話があったが、こういった形ならチャレンジしやすいと思った。（教育・学教１年）

　本日の講義を聞いて学生起業のメリットが印象に残っています。環境変化が激しいグローバル競争下で、企業が生き残るには学生起業家が必要であるということを初めて知りました。また、希望のある未来のためには、経済成長が必要であり、その未来を創造するのは学生起業へ挑戦できる我々であるということを改めて感じました。他にも学生起業のプロセスを知ることができて、非常に貴重な時間になりました。（理工学部・化学生命系・２年）

今日の講義はベンチャー企業のメリットやベンチャー企業の面白さをたくさん話してもらえました。確かに、ベンチャー企業には大きなリスクがありますがそれはサラリーマンのように会社全体に迷惑をあまりかけず自分のすべての責任負えばいいというお話に興味を持ちました。そして学生起業家は本当に多くの貴重な経験ができ、もしその後会社に就職しようとなった時は自分を高評価してもらえるということがわかりました。（経済・国際経済・１年）

　今日の講義で学んだのは、起業することで本人にも社会にもメリットがあるということです。まず本人には、たんに起業したという経験を得られるだけではなく、たとえ失敗したとしても会社に就職したりするときに有利になります。さらに起業に成功すればバイトやサラリーマンでは簡単に得られない収入を得れる可能性があることも素晴らしいと思いました。また企業家が増えることによって新たな産業が生まれ、それによって経済成長が促され、日本が豊かになっていきます。つまり日本を豊かな国にするためにも多くの企業家が必要だということです。だから自分が起業することが、日本をより良い国にする第一歩になるのだと思いました。（経営・会計情報・一年）

　学生企業家は０．０３％しかいないと聞いて１％も満たないことに驚いた。そう考えると、この講義の講演者の方々は学生の中に起業している人が多いので、貴重なお話を毎回聞けているということなのでもっと吸収出来ることしていきたいと思った。また何故企業できないのかというのに対してリアルな選択肢として考えていないというのに一番共感できた。ただ漠然と“起業したい”と思ったとしても、行動に移せないのはその理由が大きいと感じた。（経営・国際経営・一年）

今までこの授業を受けてきて、様々な起業家さんたちのお話を聞きましたが、自分は起業しないからいいや。みたいに思っている部分もありました。でもそれは間違いということに気づきました。普通に就職したいとは思っていて、会社でそのあとの自分のステップアップが今では違うということを聞いて、学生時代なら自分一人だし養うべき家族もいないので、もし失敗しても次のチャンスにつながります。BtoBは日本では難しいかもしれませんがBtoCなら少しチャンスがあるかもしれないので少し考えたいです。 (経営・国際経営1年)

就職をとりあえずして、3年後に起業すると言っている人は実際起業しない人が多く学生の間から事業を立ち上げ、就職することなく起業した人は成功している人が多いというお話がありました。やはり、自分のやりたいことが明確にあってそれに向かって必死な人ほど行動に移すタイミングも早く熱意もあるから成功するだろうな、と思いました。それができる人ばかりではないと思うけれど、やはりそれができる人が成功していく起業家なんだと思いました。（経営・経営・1年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

　今まで自分の中に起業という選択肢はなかったのですが、今回の講義を通じて自分も本気になればできるものであると短に感じることができたので、起業する場合もしない場合のどちらのためにも物語に関心を持っておき自分に何かできるか考えることは大切だとは思いました。 (理工・科学生命・2年)

　大学中に起業体験をすることで、卒業後の進路の幅を広げることが出来るということを聞き興味を持つようになりました。大学中に小さいことでも“起業”のようなことを体験してみようと思います。

（経営・国際経営・一年）

黒石さんは就職についてあまり肯定的な意見を仰っていませんでしたが、私はやはり最初は企業に入社して経験を積むべきだと思います。その中で、ウィルフのような活動参考にして、仕事しながら資金を貯めて起業を考えていこうと思います。今日の話は今までに聞いたことのない方法を見つけられることができたので、とてもいい刺激になりました。（経営・国際経営・１年）

　小さな成功体験と起業体験、学生起業を通して蓄積することは望ましいプロセスであると考える。起業と言っても様々なルートが考えられるが、自分が考えるビジネスがいかに魅力的で、社会にとって重要であるか、語ることができなければ先はないと考えた。身近な友人や文化祭等の客に対し、その魅力を伝えることを、第一に実行したい。彼らからの批判があれば真摯に受け止め、多角的に自信の考えが打ち出すサービスを分析したい。（教育人間科学部・学校教育学科・３年）

　最初から会社を立てることを切り捨てるのではなく、自分の可能性を広げるためにも選択肢のひとつとして考えてみたいと思いました。また、考えがあってもそれを実行できなければ意味がないので、やってみたいと思ったことは積極的に行動に移していきたいと思います。（経営学部・経営学科・１年）

今まで新しいことを企画するということに一種の不安を抱いていた。しかし今日の話を聞いて企画/起業する経験がないから当然のことだと思えるようになった。口だけでなく実際に起業に移せる数パーセントの人間になるために、起業経験を積みたい。3学年ということもあるのでウイルフのような実体型のビジネススクールの受験も検討してみようこと考えました。（理工・建築海洋・3年）